



『ともにスポーツで笑い繋がるまちへ』

公益財団法人福山市スポーツ協会
会長 菅田 博文

スポーツの魅力は、勝敗のスコアだけでは測れません。

それは、挑戦する勇気であり、支え合う心であり、そして人と人を結ぶ「場」そのものでもあるからだと考えています。

また、地域には、その土地ならではの風景があります。通い慣れた通学路、顔なじみの方々の笑顔、そして今、そこに加わっているのが、スポーツを通じた新しいつながりです。

こどもたちの元気な声が響くグラウンド、仕事終わりに集う野球やサッカーチーム、障がいのある人も高齢者も楽しめるニュースポーツの輪。

スポーツは競い合うだけでなく、世代や立場を超えて人と人を結び、まちをひとつにする力をもっています。

地域での活動、学校、自治体、ボランティア団体が連携しながら築いている「スポーツのある暮らし」、勝利や記録だけではない、日々の努力や交流、継続の積み重ね、それらが地域に根ざした「文化」となり、「誇り」として息づいていくものだと思います。

今、まちのどこかで誰かが汗を流し、笑いあっている。スポーツを通して地域が元気になる。そんな風景が、少しずつではありますが、広がっていると感じています。

福山市スポーツ協会でも、そんな地域の活性化に寄与すべく、「スポーツで活気あふれるまち福山」の実現に向けて取り組みを加速しています。

2026年の秋には、「楽しく体験、スポーツで作る健康と幸せ」をテーマとし、「動いて・食べて・笑って・繋がる」をキャッチコピーに一大イベントを計画してまいります。このイベントを通じて、スポーツに触れ、地域や団体など多くの人と繋がる場を提供してまいります。そのことが、まちづくりに繋がっていくものであると強く感じているところです。

皆さんの参加でスポーツの輪を広げ、ともに笑い合えるまちにしていきたいと思います。

2025年度(令和7年度)公益財団法人福山市スポーツ協会表彰式



[開会のあいさつ 岩本育夫副会長]



[謝辞 桶谷心花さん]

2025年(令和7年)7月12日(土)福山ニューキャッスルホテルにおいて、地域及び競技スポーツの発展に貢献された12名、全国大会等で活躍された選手22名・3チーム、特別表彰4名、そして、福山市総合体育大会、ふくやまスポーツ祭の学区総合表彰を行いました。

式の結びには、表彰者を代表して駅家ミニバスケットボールクラブの桶谷心花様より謝辞を頂戴し、閉式しました。



[スポーツ祭表彰]



[総合体育大会表彰]



第47回福山市総合体育大会 結果一覧



種 目	開催日	会 場	参加学区 (チーム数)	参加者数 (役員含)	大 会 結 果			
バレーボール			16学区	218人	優勝	準優勝	第3位	第3位
一般男子	4月20日	福山通運ローズアリーナ	2チーム	(25人)	坪 生	多治米		
一般女子			15チーム		坪 生	手 城	引 野	春 日
ソフトボール			43学区		優勝	準優勝	第3位	第3位
一般男子A	5月25日	マナック箕沖球場	6チーム	雨天中止 322人 (30人)	駅家	※雨天中止の為、ふくやま スポーツ祭出場学区を 抽選により決定		
一般男子B			6チーム		有磨			
一般男子C			6チーム		春日			
壮年男子A			6チーム		駅家			
一般男子D	6月1日		6チーム	320人 (30人)	津之郷	手 城	山 手	蔵 王
一般男子E			7チーム		水 呑	緑 丘	高 島	旭
壮年男子B			6チーム		山 手	水 呑	赤 坂	多治米
壮年男子C			6チーム		坪 生	千 年	松 永	千 田
実年男子A	6月8日		6チーム	338人 (30人)	水 呑	東	緑 丘	駅家西
実年男子B			8チーム		神 村	深 津	駅 家	赤 坂
一般女子		5チーム	千 田		霞	川 口	手 城	
シニア男子		5チーム	千 田		金 江	明王台	山 手	
硬式卓球			25学区		優勝	準優勝	第3位	第3位
Aブロック	6月1日	エフピコアリーナふくやま	15チーム	232人 (5人)	坪 生	久松台A	深 津	手 城
Bブロック			15チーム		駅 家	瀬戸A	大津野	川 口
軟式野球			21学区		優勝	準優勝	第3位	第3位
1ブロック	7月20日 7月27日	エブリイ福山市民球場 マナック箕沖球場 曙公園野球場	7チーム	435人 (33人)	深 津	新 涯	金 江	旭
2ブロック			5チーム		神 村	山 手	津之郷	
3ブロック			5チーム		赤 坂	桜 丘	川 口	春 日
4ブロック			4チーム		御 野	水 呑	南	
水泳競技			10学区		優勝	準優勝	第3位	第3位
	8月3日	福山通運ローズアリーナ	10チーム	123人(41人)	蔵 王	伊勢丘	坪 生	
バドミントン			18学区		優勝	準優勝	第3位	第3位
	8月17日	エフピコアリーナふくやま	21チーム	200人(14人)	山 手	手城A	樹 徳	明王台
	合計(参加者のみ)			2,188人				
	総合計(役員数含む)			2,396人				
総合順位	優 勝：坪 生 準優勝：水 呑 第3位：千 田 第4位：山 手 第5位：手 城 第6位：神 村 第7位：赤 坂 第8位：深 津 第9位：津之郷 ※同点の場合は、各種目の優勝・準優勝・第3位に入った数が多い方を上位とする。							



[写真]

バレーボール	ソフトボール	硬式卓球
	軟式野球	バドミントン



第77回ふくやまスポーツ祭



成績一覧(学区対抗の部)

〔開催日〕2025年(令和7年)9月21日(日) 〔開催場所〕福山通運ローズスタジアムほか

〔総参加学区(参加者数)〕57学区(1,707人)

種 目	会 場	参加 チーム 数	大 会 結 果		
			優 勝	準優勝	第3位
ソフトバレーボール(29学区46チーム:295人+競技役員23人=318人)					
シニアの部	エフピコアリーナふくやま	7	柳 津	今 津	有 磨
混成の部		7	西深津	手 城	深 津
フリーの部		10	水 呑	有 磨	千 田
女子の部		15	湯 田	道 上	神 辺
小学生の部	小学生は3学区 6チーム	7	坪生A	坪生B	多治米B
ソフトボール(13学区15チーム:242人+競技役員28人=270人)					
一般男子の部	マナック箕沖球場	4	津之郷	水 呑	駅 家
壮年男子の部		3	坪 生	駅 家	山 手
実年男子の部		4	深 津	水 呑	神 村
一般女子の部		4	千 田	手 城	霞
軟式野球(4学区:85人+競技役員23人=108人)					
一般の部	エブリイ福山市民球場	4	神 村	御 野	深 津
陸上競技(14学区:438人+競技役員29人=467人)					
	福山通運ローズスタジアム	14	御 野	神 辺	湯 田
フットベースボール(16学区17チーム:260人+競技役員28人=288人)					
Aブロック	竹ヶ端運動公園多目的広場	17	多治米	山 手	長 浜
Bブロック			赤 坂	川 口	新 涯
グラウンド・ゴルフ(41学区:246人+競技役員10人=256人)					
1グループ	福山市グラウンド・ゴルフ場	20	水 呑	湯 田	坪 生
2グループ		21	駅 家	加 茂	千 年
総合順位	優 勝:水呑学区(43点) 第3位:深津学区(29点) 第5位:神村学区(24点) 第7位:千田学区(21点)		準優勝:駅家学区(31点) 第4位:坪生学区(27点) 第6位:湯田学区(22点) 第8位:御野学区(20点) ※同点の場合、まずは優勝の数、次に準優勝、第3位に入った数が多い方を上位とする。		



〔ソフトバレーボール〕



〔ソフトボール〕



〔軟式野球〕



〔フットベースボール〕



〔グラウンド・ゴルフ〕

学区体育会活動報告

松永学区体育会

松永学区体育会は、戦後間もない1947年(昭和22年)5月15日に松永体育協会として発足し、今年で78年の歴史を刻んできました。

発足当時より、その精神・目的は変わらず、町民の体育運動を振興して、体力の向上とスポーツ精神を培い、併せて町民相互の親睦を図ることを目的に、各種事業を計画的に行い現在に至っています。

毎年恒例行事として、ソフトボール大会、ソフトバレーボール大会、ボウリング大会、グラウンド・ゴルフ大会、町民運動会、卓球大会を各地域対抗戦と、種目によっては個人戦も行っています。

いずれの大会も、参加者はいい笑顔でいい汗を流し、日ごろの運動不足を解消したり、体力の向上に役立っており、さらに地域間での交流、つながりもできて、いい形で親睦が図られています。このつながり・絆を大切にして、次世代へつなげていければ、今後の松永学区体育会も100年を目指して継続していけると思います。

しかし、課題もあり、なんとか大会は実施できていますが、少子・高齢化が叫ばれる中、参加者の減少、体育役員のなり手不足等が喫緊の課題となっています。参加増を図るために、各地域部長に、強力な参加声掛け等を行ってもらい、取りまとめをお願いしていますが、なかなか参加増とはならず厳しい状況が続いているのが実状です。

課題はいろいろありますが、地域住民の皆さま方の理解と協力がないと、体育会は成立しませんので、これからも体育を通して地域住民の皆さま方とのつながり、絆を深め、今後ますます松永地域が発展し、住民の健康と幸福につながるよう尽力していきたいと思っています。



【ソフトバレーボール大会】



【ボウリング大会】



【町民運動会】



【卓球大会】

柳津学区体育会

柳津学区体育会は、新型コロナウイルス感染症の流行以降、活動は制限を受け、多くの行事が中止や延期を余儀なくされました。その影響もあり、体育会から脱会する町民が増えつつある状況です。小学校の運動会と合同で行っていた町民運動会もなくなりました。

現在活動を継続しているのは、グラウンド・ゴルフ部、ソフトバレーボール部、卓球部、ソフトボール部、バレーボール部のみとなっています。

従って、私たち体育会としては、運営方法を近年の変化とともに変えざるを得ないこととなっています。各部が運営の主体を行う町民大会は、町内の各自治会・町内会の垣根を取り、気の知れた仲間と気軽に参加しやすい形に変えました。

今年度(2025年度)前半は、グラウンド・ゴルフ大会(町内)、松永学区ソフトボール大会に参加させていただきました。また、体育会の主催ではありませんが、体育会役員が運営スタッフとして入る「ヤナリンピック」(町民運動会の代わり)が新たに発足しました。老若男女誰でも参加可能型の運動会で、種目に参加した方は必ず参加賞がもらえる形にしています。キッチンカーも数台グラウンドに呼んでいることも影響してか、通りがかりの町民も参加していただき、年々参加者が増えております。

運営面では、引き続き難しい局面をむかえています。

今までの運営方法にとらわれず、新たなアイデアや手法により、町民の皆様の健康維持や町民同士の交流がより活発になることを願って、活動を進めてまいります。



【グラウンド・ゴルフ大会】



【ヤナリンピック】

学区体育会活動報告

金江学区体育会

金江学区体育会は体育会の目的である「体育運動を振興し、体力向上とスポーツ精神を培い、地域の発展に寄与するとともに、町民相互の親睦をはかることを目的とする」という理念のもと活動を続けています。しかしながら、金江学区は現在人口の減少、高齢化、自治会離れが深刻となっております。その影響は体育会の活動にも及んでいます。特にコロナ禍が下火となり活動を再開しようとした時、コロナ禍の3年間に行事の参加者、役員の両方に活動意欲の低下が見られ、一時再開が厳しい状況になりました。この状況において、いかに参加者を増やし、また役員の負担を減らしながら行事を続けていくかを役員全員で話し合いました。

その結果、コロナ以前まで行っていた地区ごとの参加者集め、地区対抗というやり方を止め、町内全体で参加者を募りその参加者の中でチーム分けをし、ゲームを楽しむという形式に変更しました。時間も午前中までとしました。行事の名称も〇〇〇大会から〇〇〇の集いに変更しました。対抗すなわち競うというよりは楽しむといったイメージで気軽に参加できるようにしました。このやり方でソフトボール、バレーボールとソフトバレーボールは隔年、卓球の各集いを行なっていて、今年度で3年目になります。参加者はコロナ前には届きませんが、さらに参加者が増えるよう努めていきたいと思っています。

その他の町内行事として町民運動会には主管団体として運営に関わっています。こちらも現在は午前中のみとなりましたが、大勢の参加者で盛り上がっています。また、コロナ以前は元日に町内一周駅伝を行なっていましたが、チーム数の減少で中止になり、現在は新春マラソンという形で行っています。

町内行事の他にも松永地区の大会、福山の学区の大会にも出来る限り参加しております。こちらは選手の確保に苦労して、種目によっては若い人の参加が減っていて課題となっています。

今後とも町民の交流の場として、多くの人に参加してもらえよう、活動して行きたいと思っています。



〔第66回金江町民運動会〕



〔町内ソフトボールの集い〕



〔町内バレーボールの集い〕

藤江学区体育会

藤江学区体育会は1980年頃より発足し、現在に至ります。本体育会では、長年の間、藤江町において、スポーツを中心とした町づくりを中心とし地域活性に向けて取り組んでいます。近年では、2000年代からは、藤江小学校及び、藤江町の地域との連合における町民運動会を実施し、本体育会を中心とした世代を超えた町民と学区の小中学校が連携を図り、藤江町全体としての地域街づくりの促進に力を入れてきました。また、松永地区体育会開催行事への参加、町内駅伝大会、球技大会、スポーツ教室などを実施し、地域におけるスポーツを通じた地域促進にも力を入れてきました。これらを通じ、本学区における小中学校児童に対し、地域との繋がりに重点をおいた協働的な学びとしての教育普及に貢献してきました。なお、藤江町地域への「夏祭り」「文化祭」への参加、ゲタリンピック及び、福山市スポーツ協会主催各種競技大会への参加も積極的に行っていました。

近年では、小中学校の児童数も減少傾向にあります。本学区体育会として、これからの持続可能な社会の構築に向け、スポーツを中心とした藤江町内の世代を超えたタテとヨコの繋がりを重視し、地域活性に取り組んでいます。現在では、12月から藤江町内のイルミネーションを実施し、町民の心をひとつにし、藤江町内の取り組みを社会に発信しています。また、現在においても松永地区体育会主催の大会、福山市スポーツ協会主催各種競技大会へも積極的に参加しており、今後も地域の活性化に向け、尽力していきたいと思っています。



〔町内一周駅伝大会〕



〔町民運動会〕



〔町内一周駅伝大会〕

ふくやまジュニアアスリートアカデミー(第3期生)認定証交付式を開催しました ～コーディネーションプログラム、合宿、様々な競技にも挑戦しています～

福山市内の小学4年生を対象に、ボール投げや50m走、上体起こしなどの体力測定を実施し、20人の3期生が誕生しました。

コーディネーショントレーニングを考案された徳島大学名誉教授の荒木先生が、体の動かし方だけでなく、知性や感性が高まる脳神経を刺激するプログラムの指導を担当しています。体力の向上だけではなく、近年問題となっているSNSや、スマートフォンの使用について、こどもたちに問題提起しながら、姿勢改善や体の使い方を意識するよう指導しています。

チームで取り組むプログラムではアイデアを出し合い、コミュニケーション能力の向上も育まれています。合宿では昼食のうどん作りや自由時間に自ら遊びを考え、充実した二日間を過ごしました。バスケットボールや卓球などの競技体験も行い、今後も様々なプログラムや競技体験をする予定です。



〔開校式〕



〔コーディネーショントレーニング〕



〔競技体験〕



〔合宿(昼食作り)〕



〔陸上競技体験〕

朝原宣治さんに公益財団法人福山市スポーツ協会アンバサダーを委嘱



〔本協会の菅田会長と朝原宣治さん〕

2025年(令和7年)6月28日(土)、本協会が実施する事業並びに活動のPRを行う「公益財団法人福山市スポーツ協会アンバサダー」の委嘱式をエフビコアリーナふくやまで開催し、朝原宣治さん(2008年北京オリンピック陸上男子4×100mリレー銀メダリスト、陸上競技指導者、スポーツ解説者)を選任し、本協会の菅田会長より委嘱状が交付されました。

当日は、委嘱式に先立って「ふくやまジュニアアスリートアカデミー3期生認定証交付式」があり、式後には3期生(小学4年生)を対象としたアカデミー「陸上競技体験」があり、朝原さんは走り方のコツを伝えました。

朝原さんには今後、アンバサダーとしてジュニア選手の強化やその他、本協会が実施する事業への参加など協力をしていただく予定です。



〔委嘱式〕

『ふくやまスポーツフェスティバル2025』を開催!! ～13,000人が「動いて食べて楽しんだ」2日間～

10月12日(日)・13日(月・スポーツの日)の2日間、エフピコアリーナふくやま、ほか本協会が管理する施設6会場で「動いて 食べて 楽しむ」をキャッチコピーとして様々なイベントを開催しました。

エフピコアリーナふくやまでは新しい形の運動会「未来の運動会、や」スポーツランド(競技スポーツ種目やレクリエーションスポーツなど遊びを取り入れた体験型イベント)、などに、こどもから大人まで楽しく体を動かし、美味しいものを食べて笑顔が絶えない2日間となりました。

ご来場いただきました皆様方、本当にありがとうございました。来年は、さらにグレードアップしたイベントとなるよう現在、様々な方々と話し合いをしながら準備を進めている所です。楽しみに待っていてください。

また、来年会場でお会いしましょう!!



2025年度(令和7年度) 賛助会員名簿(敬称略)

2025年(令和7年)9月末日現在

特別会員	加入企業名	団体会員
加入企業・団体・個人名		加盟団体名
JFEスチール株式会社西日本製鉄所	株式会社ハヤシ商店	新市学区体育会
青山商事株式会社	株式会社サンエス	福山市空手道連盟
株式会社エフピコ	株式会社ジェーイーエル	福山市弓道連盟
公益財団法人天野スポーツ振興財団	株式会社ニューヴィークル	福山市柔道連盟
社会医療法人祥和会	株式会社もみじ銀行福山支店	福山市軟式野球連盟
中国新聞備後本社	株式会社中国銀行福山支店	福山地区ソフトボール協会
ツネイシホールディングス株式会社	株式会社メディアテックー心	福山バスケットボール協会
テラル株式会社	株式会社八杉商店	福山バレーボール協会
テラルホールディングス株式会社	吉川管工株式会社	松永学区体育会
南九フーズ株式会社	光和物産株式会社	
	大和建設株式会社	
	タカオ株式会社	
	竹野木材株式会社	
	タムラ産業株式会社	
	中銀証券株式会社	
法人会員	トライ産業株式会社	
加入企業名	日東製網株式会社	
株式会社福山臨床検査センター	早川ゴム株式会社	個人会員30名の方のお名前は、 割愛させていただいております。
医療法人社団常仁会	ホーコス株式会社	
学校法人福山大学		
福山ガス株式会社		
福山商工会議所社		
福山南ロータリークラブ		
福山ロータリークラブ		
株式会社広島銀行福山営業本部		
野村證券株式会社福山支店		
アサヒタクシー株式会社		
アマノ企業株式会社		
株式会社伊呂波		
株式会社駅家工務店		



今年は暑い夏が続き、やっと秋の匂いの彼岸花が咲き、コスモスの花が咲いています。スポーツをするには良い季節となりました。私は現在73歳、市民ランナーとして8年前までは近隣のマラソン大会にエントリーをして、それを目標にトレーニングをして来ましたが、最近では体を動かさない日々で高血圧に肥満気味になり元気がありませんでした。半年ほど前、縁あって山口の海峡マラソンにエントリーを致しましてトレーニング中であります。体脂肪も減り、高血圧の薬も少なくなりました、11月2日の大会では6時間以内で完走できれば最高です。

同じ様な境遇の方がいらっしゃれば、居酒屋で一杯やりながらお話ししたいものです。スポーツは楽しいものですね。

企画広報委員：後藤 道幸

■広報誌／スポ協ふくやまVol.39 2025年(令和7年)11月1日発行

■発行／公益財団法人福山市スポーツ協会 〒720-0804 福山市緑町2番2号 福山通運ローズアリーナ内
TEL(084)927-9910 FAX(084)927-9913
email : rosearena@city.fukuyama.hiroshima.jp



※紙面の写真は関係者の了解を得て掲載しています。